

わかくさ

学 校 通 信

青梅市立若草小学校

令和5年6月30日

第816号

思いやりのある行動を目指して

学校長 濱岡 明男

1学期も残すところ1か月を切りました。そろそろ夏休みの計画を立てているご家庭も多いのではないのでしょうか。学校では、7月11日（火）から6年生が日光移動教室に行きます。たくさんの経験をして、一回り成長した姿をお見せできることを楽しみにしています。



6年生の発表の様子

さて、6月19日（月）に「思いやり集会」が行われました。各学年、わかくさ学級が自分たちにできる「思いやり」について考え、1年間を通して実践していく取組について発表しました。その取組は、上級生になるにつれて、自分から友達、友達から周りの人へと対象が移り変わり、視野が広がっていくのがよく分かりました。そして、相手の気持ちを考え、思いやりのある行動をするために子供たちが立てたスローガンが以下のものです。

- 1学年 「みんな なかよし」
- 2学年 「なかよく 元気な 2年生」
- 3学年 「思いやりチャンピオンであふれる学校にしよう」
- 4学年 「周りをよく見て、困っている友達を助けることのできる4年生」
- 5学年 「やさしい言葉で みんなを大切に」
- 6学年 「友情の力で助け合い 笑顔で声かけありがとう」
- わかくさ学級 「相手のことを考えて、みんなで温かい気持ちになろう」

私からは子供たちに、「この思いやりは誰のためにするものか考えてみよう」と問いかけてみました。もちろん友達のため、家族のため、周りの人のために行動すると答えてくれた子供たちが大勢いました。そこで、「ありがとう」と言ってくれた人には、きっと「ありがとう」と返したくなること、困っていたところを助けてくれた人には、今度困っていたら助けてあげようと思うことなど、これからみんなが続けていく思いやりは、未来の自分のためにもなることを説明すると、たくさんの子供たちが大きく頷いていました。

自他を共に認め、大切にしながら日々の生活の中で、思いやりのある行動を目指して頑張って取り組んでいく子供たちの姿を、みんなで見守り、成長を見届けていきましょう。